

イ 県 指 定

事業区分	補助事業者	名 称	種 別	事業内容	全 額			
					総 額	国	県	地 元
史 跡 環 境 整 備	泉 崎 村	観音山磨崖供養塔婆群	史 跡	史跡護岸工事	千円 1,683	千円 —	千円 1,120	千円 563
記念物保存修理	岩 角 寺	岩 角 山	名・天・記	岩石落下防止	1,025	—	680	345
天然記念物保護増殖	二柱神社	二柱神社の杉	天 記	枯枝除去	1,080	—	720	360
〃	高 荻 稔	上三坂のシダレグリ地目	〃	棚 設 置	100	—	60	40
美術工芸品保存修理	歓 喜 寺	絹本著色名体像 不離阿弥陀画像	重 文	保 存 修 理	1,200	—	800	400
〃	長 谷 寺	木造十一面観音立像	〃	〃	5,000	—	3,330	1,670
〃	松 山 寺	紺紙金字法華経	〃	〃	1,500	—	1,000	500
美術工芸品防災施設	円 通 寺	木造聖観音菩薩坐像	〃	防 災 施 設	2,000	—	1,330	670
美術工芸品保存施設	表 郷 村	金 銅 装 笈	〃	耐火金庫修理	296	—	190	106
建造物保存修理	会 武 家 屋敷	旧中畑陣屋主屋	〃	保 存 修 理	3,287	—	750	2,537
		計 10 件			17,171		9,980	7,191
		総 計 41 件			502,769	88,586	35,563	378,620

ウ 大内宿保存特別対策事業の推進

南会津郡下郷町大内宿が昭和56年4月18日付、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

下郷町では、これを機会に住民の理解と協力を得ながら大内宿の保存と整備に着手した。県もこれを受けて、県教育委員会の重点施策にとり入れ、保存助成の充実に努めた。

。国庫補助事業 茅屋根の葺替・修景 8戸  
説明板の設置 2ヵ所

。県単独補助事業  
生活道路の用地買収費に対する県費助成  
補助率 ½  
補助金 14,910千円

(4) 文化財活用の促進

① 県指定文化財の施設整備・

文化財に対する理解と認識を高め、地域住民の文化財愛護精神の高揚を図るため、本年度から3年継続で県指定文化財に標柱等を設置した。

本年度設置市町村 20市町村

	説明板	標 柱	方 案 内 柱	計
建 造 物	5	6	0	11
史 跡	9	13	5	27
名 勝 及 び 天 然 記 念 物	20	19	4	43
計	34	38	9	81

② 文化財保護強調週間

11月1日から7日まで、県庁本庁舎正面に垂幕によ

る啓発を行った。

③ 文化財防火デー

毎年1月26日を文化財防火デーと定めているが、県内各消防署等の協力を得て、県下各市町村で防火訓練、防火診断、査察を実施した。県教育委員会においても、チラシを作成配布し、文化財の防災に対する啓蒙を行った。

④ 第31回福島県民俗芸能大会

県内に継承されている民俗芸能を公開し、その正しい継承と保存を図るため、特に本年は初めての試みとして屋外に舞台を設け、一部は舞台の上で他は土の上で本来の姿で再現し、民俗芸能に対する認識を深めるとともに、記録保存に努めた。

ア 期 日 昭和56年9月13日(日)

イ 会 場 石川郡平田村永田小学校

ウ 主 催 県教育委員会、平田村、平田村教育委員会、福島民友新聞社

エ 出演芸能 北又の獅子舞(靈山町)笹山の太々神楽(船引町)小塩の早乙女踊(伊南村)塚原の田植踊(小高町)駒形念仏踊(平田村)南宿の白鷺踊(玉川村)大和久の天道念仏踊(矢吹町)永田観音盆踊(平田村)

オ 観覧者 約1,000名

⑤ 第2回福島県民謡まつり

近年の社会情勢の変化に伴い、生活や仕事に密着して伝承されてきた民謡も変貌をとげ、古来の姿は日ごとに失いつつある。これらの民謡を発掘して、できる限り本来の姿で再現して一般に公開し、記録保存に努めた。

ア 期 日 昭和56年度12月5日